氏名	倉 田 典 之
学位の種類	医 学 博 士
学位授与番号	乙 第 1370 号
学位授与の日付	昭和58年3月31日
学位授与の要件	博士の学位論文提出者（学位規則第5条第2項該当）
学位論文題目	**ループス腎炎の免疫学的研究：病変腎組織での nuclear ribonucleoprotein（RNP）抗原の証明**
論文審査委員	教授 木村郁郎　教授 長島秀夫　教授 折田薫三

学位論文内容の要旨

ループス腎炎の病因を解明するため，病変腎組織における nuclear ribonucleoprotein (RNP) 抗原の直接的証明を試み，陽性所見を得た。

抗 RNP 抗体は，混合性結合組織病の患者血清から分離し，蛍光色素（FITC）を標識した。全身性エリテマトーデス（SLE）50例，原発性糸球体腎炎25例の生検腎組織を FITC 標識抗体で染色した。上記75例の腎糸球体では，免疫グロブリンと補体成分が顆粒状の沈着を示した。

SLE 50例中7例で，糸球体内に RNP 抗原が顆粒状沈着物として証明された。7例中3例では間質にも RNP 抗原が認められた。対照試験にもちいた25例の原発性糸球腎炎では，RNP 抗原は全例陰性であった。

上記の所見は，RNP 系の免疫複合体がループス腎炎発生の一要因であることを示すものであり，2本鎖 DNA 系以外の抗核抗体も本症の病因に関与するという筆者らの仮説を支持するものである。

論文審査の結果の要旨

本研究はループス腎炎の免疫学的研究として病変腎組織での nuclear ribonucleoprotein (RNP) 抗原について臨床的に研究したものであるが，原発性糸球体腎炎では陰性であった RNP 抗原を SLE の症例の糸球体内及び間質に証明し，RNP 系の免疫複合体がループス腎炎発生の一要因であることを観察し，重要な知見を得たものとして価値ある業績であると認める。

よって，本研究者は医学博士の学位を得る資格があると認める。